学校番号	1015

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　倫理　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各宗教の成立と、その戒律を知ることが、平和な社会の実現へとつながることを認識させたい。
・わかりやすく映像資料を用いて、具体的事例をつかませていく。
・学んだ先哲の思想をもとに、各自が今後の生き方に活かせていけるように具体的な問題について考えさせていく。
・他者とともに生きる主体としての自己確立を促し、人格形成に努める実践的意欲を高めていく。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせる。
【思考力、判断力、表現力等】
古代から近現代にいたるまでの倫理的諸課題に対して自分の意見をもって説明したり、他者の意見を取り入れながら深く思考することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
人格の形成に努める実践的意欲を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	青年期における自己形成や人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄を，他者とともに生きる主体としての自己確立の課題につなげて理解し，人格形成に生かす知識として身につける。	他者とともに生きる主体としての自己確立に広く課題を見いだし，人間の存在や価値について多面的，多角的に考察，探究し，広い視野に立って主体的に判断し，適切に表現する。	青年期における自己形成に関心を高め，人格の形成と他者とともに生きる主体としての自己確立に努める実践的意欲を持ち，諸課題を探究し，在り方生き方への自覚を深めようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1編　現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方	1　人間の心と自己形成	a: 青年期の課題と自己形成を理解し、知識を身に付けている。 b: 青年期の意義や自己形成について、主体的に考察し、その結果を表現することができる。 c: 青年期の課題について考察しようとする。	定期考査 小テスト	ワークシート	ワークシート
		2　人間の存在や価値と宗教	a: 宗教・哲学を自己の生き方にかかわるものとして知識を身につけている。 b: 宗教の特徴を生き方在り方の課題と結び付けて考察しようとする。 c: ギリシャの思想について主体的に考察し、その結果を表現することができる。よく生きることの探究と自分の生き方と結びつけて考察しようとする。	定期考査 小テスト	ワークシート	ワークシート
2学期		3　人間のあり方と社会	a: 人間がよりよく生きるという観点の知識を身に付けている。 b: 現代社会の現状や課題について主体的に考察し、導き出した結論を表現することができる。 c: 近代的人間の特徴を考察しようとする。	定期考査 小テスト	ワークシート	ワークシート
		4　現代の人間と社会をとらえる思想	c:身近な話題をテーマに正義とはなにかを考えることができる			ワークシート グループ討議
3学期		5　国際社会に生きる日本人としての自覚	a:日本の風土や伝統について理解している。 b:さまざまな時代の思想についてまとめることができる。 c:日本の国際的地位を理解し、どのように社会に貢献していくのかをかんがえることができる。	定期考査 小テスト	ワークシート	ワークシート

	第2編　現代の諸課題と倫理	1　自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理	a:科学技術の発達による再生技術などがあることを理解している。 c:脳死や代理出産などを主題にし、自分の考えを伝えることができる。	定期考査 小テスト		ワークシート 発表
		2　社会と文化にかかわる諸課題と倫理	a:多様性のある社会、マイノリティの生きづらさについて理解がある。 b:身の回りを見渡し、社会の障害を考えることができる。 c:誰もが安心して生きることができる社会をめざしてどう行動するか考えている	定期考査 小テスト	ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度